

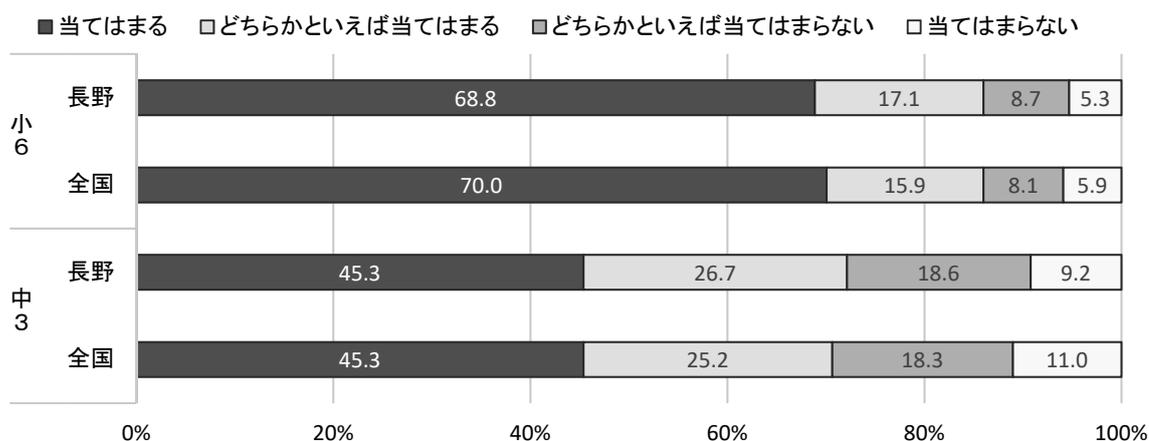
2 信州を支える人材の育成

(1) キャリア教育の充実

現状と課題

- 学校現場にキャリア教育の理念や重要性が浸透してきましたが、職場体験・就業体験活動のみをもってキャリア教育を行ったものとしているのではないかと指摘があります。このため、児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通せるよう、教育課程全体を通じてキャリア教育を推進する必要があります。
- 専門高校においては、職業の多様化や就職環境の変化等への対応が求められており、地域や産業界と連携した実践的な教育を充実することが課題となっています。
- 技術革新の急速な進展など、若者を取り巻く経済・社会の状況が変化する中、学校教育と職業生活の円滑な接続を図り、子どもや若者に望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識・技能を身に付ける必要があります。

図2-（1） 「将来の夢や目標を持っている」と答える児童生徒の割合



文部科学省「平成29年度 全国学力・学習状況調査」

目指す成果

- ◆ 社会的・職業的に自立した人間の育成のために、基礎的・汎用的能力を身に付けます。
- ◆ 自己の特性や関心に応じた進路目標を持ち、社会情勢を適切に判断し、進路を選択できる能力を育てます。
- ◆ 社会の一員として、地域の中で課題を見つけ、よりよい社会づくりに参加・貢献できる能力を身に付けた人材を育てます。

主な施策の展開

キャリア教育を充実するために、次のような取組を進めます。

① 学校における系統的・体系的なキャリア教育の実施

- 各学校がこれまで実施してきている様々な教育活動をキャリア教育の視点で見直し、それらのつながりを意識したカリキュラムの作成により、系統的・体系的なキャリア教育の推進を図ります。
- 連続性のある育成の視点を持って、生徒指導、教科指導やキャリア教育等において、学校と高等教育機関との連携・協力を進めます。
- 産学官が連携して県全体のキャリア教育を支援する「長野県キャリア教育支援センター」の活動を推進するとともに、小・中学校のキャリア教育を支援する市町村プラットフォームへの支援を行います。

② 実社会とつながる教育・体験機会等の充実

- 中学校の職場体験や高校生の就業体験活動の充実を図り、生徒が学ぶ目的や働く意味を考える教育を推進します。
- デュアルシステム*など、高校における地域・産業界と連携した実践的な教育を一層推進します。
- 児童生徒の地域社会の一員としての意識や地域貢献の意識が高まるよう、学校と地域が連携・協働する信州型コミュニティスクールの取組を通じた機会の提供を図ります。
- 関係機関等との連携により、児童生徒が技能やものづくりの魅力に触れる機会の提供に取り組みます。
- 農業体験や農作業の楽しさを学ぶ学習活動を推進し、児童生徒の食に対する感謝の心を育み、農業への関心を高めます。
- 中高生に対して、先駆的な取組を行う農業者の活躍や魅力の発信など、将来の就農へつながる取組を進めます。
- 「生きる力」を育むため、学校における消費者教育を推進します。
- 高等学校の生徒等が働く前に必要な労働関係法令等に関する知識を習得できるよう支援します。
- ハローワークや市町村、NPO等と連携し、若年者の意識やスキルにあわせて、職業意識の形成や職業選択の支援を行います。



就業体験活動（林業）

③ 福祉教育の推進

- 福祉施設職員等による出前講座、福祉・介護施設での職場体験等様々な機会を通して、福祉マインドの育成を図ります。
- 共生社会の実現に向けた地域づくりを進めるために、学校、教育関係機関、地域、社会福祉

協議会等が連携して、福祉教育のネットワークづくりを推進します。

- 学校、公民館等が社会福祉協議会や地域と連携して福祉教育・ボランティア学習やプログラムづくりを共同で実践する取組を進めます。

④ 主権者教育の推進

- 政治の仕組みについての必要な知識の習得だけでなく、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担う力を育むため、学校における主権者教育を推進します。



校内での模擬選挙（主権者教育）

成果指標

成果指標項目	現 状	目 標	備 考
「将来の夢や目標をもっている」と答える児童生徒（小6、中3）の割合	78.8% (2017年度)	83.0% (2022年度)	文部科学省「全国学力・学習状況調査」

※ 目標の年次は、本計画の最終年度の実績を評価する2023年度に把握できるものとしています。

参考指標（施策実施にあたって参考とするエビデンス）

参考指標項目	現 状	分析の視点	備 考
県内公立高等学校卒業生の県内就職率	90.7% (2016年度)	高い県内就職率を維持していること	教学指導課調べ
県内公立高等学校卒業生の大学進学率	36.9% (2016年度)	大学進学率が上昇していくこと	教学指導課調べ